



滋賀縣の横田橋全景

## 横田橋の概要

### 滋賀縣の一名橋成る

位置 滋賀縣甲賀郡柏木村及び三雲村間に於て野州川の上流なる横田川に架せらる、往昔より東海道の要路に衝り難所十三渡の一にして地質は極めて良好である。

形狀 橋長 196 米 364、幅員 6 米 06。

構造 徑間 10 米 909 の三連續鐵筋コンクリート丁桁、桁中心間隔 1 米 667、床版の厚 0 米 152。

橋臺橋脚 橋臺は松丸太杭打コンクリート、橋脚は鐵筋コンクリート井筒を沈下した上に鐵筋コンクリート三尺角脚柱二本建とした。

橋床橋面 橋床均コンクリートは 1:2:4 配合にて橋面は 35 分 1 の勾配を有す、伸縮目筋は各連續桁端に 3 種の間を設け銅板を挿

入す。

高欄照明 高欄は鐵筋コンクリート、モルタル塗とし男柱は三雲花崗石を使用せり。

設計荷重 は道路構造令の規定に依り 8 噸自動車、12 噸輾壓機及び橋面一平方メートルに 500 噸に相當する群集荷重の通過に堪へしむ。

工費 豫算總額 29 萬 3 千 9 百餘圓。

工期 昭和 3 年 5 月起工、昭和 4 年 10 月竣工。

設計監督 滋賀縣土木課。

工事請負 京都市矢野組。

使用材料 東亞セメント 4578 樽、鐵筋材料 146.37 噸、大日本アスファルトブロック會社製、鋪裝用アスファルト塊 4 萬 6 百 18 個。

使用工員 鐵工 931 人。大工 764 人。潜水夫 54 人。石工 250 人。左官 496 人。煉瓦工 30 人。人夫 5,744 人。計 3,269 人である。尚ほ本橋の前後取付道路工事の工員は別である。(都筑通督)